



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

人口減少を見据えた「町」の将来像をどう描いているのか



(動画時間)
53分

町長：利便性を考慮し、コンパクトにまとめ中心部に集めることが考えられる

その他の質問事項

- ▶ 高齢者の社会参加を促す取り組みについて
- ▶ 質の高い教育の実現について

質問

現存する公共施設を今後も維持することはできません。将来の公共施設の配置を含めて町長はどのようなビジョン、構想を描いていますか。

町長

人口減少を踏まえ、できるだけコンパクトに中心部に集めることで、交通の便、防災、エネルギーも含めて、利便性が向上し生活できることが重要と考えています。

再質問

公共施設の整備に関しては次世代に過度な負担をかけないという課題も出てきます。一方で現状としては大きなところから手を付けていかなければならないと思います。町長の考えを伺います。

町長 公共施設の中で役場・消防庁舎、公民館も旧耐震の施設です。こうした老朽化に伴う再編・統廃合が求められていると認識しています。公共施設全体の現状を把握し見通しを立て、できることから手を付けて、まずは議論のテーブルに乗せることからやっていきます。いずれにしても、次の世代に先送りするということは、私はしたくないと考えています。

民家の間口除雪従事者減少の課題と解決は



(動画時間)
23分

町長：支援策を調査研究し判断したい



おおのし いさお
大西 功 議員

質問

支援が必要な民家の間口除雪は町内建設業者や個人で請け負いますが依頼があっても出来る範囲に限りがあります。今後自力除雪が困難な高齢者が増え依頼件数も増えていく反面、除雪従事者が高齢化し減少していきます。小型のタイヤショベルを購入するにも高額で補助金制度もないため町が購入して新たに従事してくれる個人に対して安価でリースしてくれる制度を新設してはいかがでしょう。

町長

高齢を理由に間口除雪を辞められた担い手もいます。依頼場所も点在し、すべて受けられるか不安の声もあります。実態把握の上、今後の方策を考えていかなければなりません。

色々なハードルはありますが、たとえばリース会社で借りて従事する方に対して町が補助する方法もあるかもしれません。支援策を調査研究し判断したいと思っています。

